

中学歴史プリント（過去問類似）

江戸時代

名前

得点

/8

問1 江戸時代後期、織物業などの盛んな地域で見られた、一つの建物に多くの働き手を集め、手作業による分業と協業を通じて製品を生産する仕組みを何といいますか。 (2026年 愛媛公立入試 類似)

1. 工場制手工業（マニュファクチュア） 2. 問屋制家内工業 3. 機械工業 4. 大名貸

問2 18世紀前半に、第8代将軍である徳川吉宗が主導した幕政改革では、幕府の財政を立て直すために新田開発が奨励されました。この一連の改革の名称として正しいものを選んでください。 (2016年 鳥取公立入試 類似)

1. 享保の改革 2. 寛政の改革 3. 天保の改革 4. 慶安の御触書

問3 1700年ごろの江戸時代中期、前代の政策によって低下していた貨幣の質を元に戻し、急激な物価の上昇を抑えようと試みた人物は誰ですか。 (2019年 愛媛公立入試 類似)

1. 新井白石 2. 田沼意次 3. 松平定信 4. 水野忠邦

問4 16世紀に日本へキリスト教が伝来した経緯と、その初期の動きについて述べた文として正しいものはどれですか。 (2020年 鳥取公立入試 類似)

1. フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来日し、イエズス会を通じて布教が開始された。 2. ルイス・フロイスが長崎に来日し、プロテスタントの教えを広めた。 3. マルティン・ルターが日本を訪れ、天皇にキリスト教の公認を求めた。 4. 徳川家康の招きにより、イタリアの宣教師がローマ教皇の親書を携えて来日した。

問5 17世紀後半から18世紀初めにかけての上方を中心とした文化（元禄文化）について述べた文として、井原西鶴の活動内容として最も適切なものはどれですか。 (2021年 三重公立入試 類似)

1. 大阪を拠点とし、町人の欲望や暮らしを題材にした小説を執筆した。 2. 人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を書き、義理人情の葛藤を描いた。 3. 『見返り美人図』に代表される、人々の生活を描いた浮世絵を創始した。 4. 装飾豊かな屏風画や工芸品を制作し、独自の様式美を確立した。

問6 天保年間に発生した「大塩平八郎の乱」に関する記述として、その背景や内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)

1. 大坂町奉行所の元役人が、飢饉に苦しむ人々を救うために豪商を襲い、軍資金や米を分け与えようとした。 2. 徳川綱吉が発令した「生類憐みの令」に反対し、武士や町人が大坂周辺で大規模なデモを行った。 3. 裁判の基準となる「公事方御定書」の内容に不満を持った農民たちが、江戸幕府に対して一斉に反旗を翻した。 4. キリスト教への弾圧が強まる中、九州地方の領主による過酷な年貢の取り立てに反発した人々が蜂起した。

問7 18世紀末のフランスにおいて、市民革命の混乱の中から登場し、皇帝としてヨーロッパ各地へ侵攻したナポレオンの行動が、周辺諸国に与えた歴史的な影響として最も適切な説明はどれか。 (2026年 山口公立入試 類似)

1. フランス軍の侵攻を受けた各地で民族意識が高まり、近代国家をつくろうとする動きが強まった。 2. ロシアとの軍事同盟を強化したことで、ヨーロッパ全域にわたる長期的な絶対王政の安定がもたらされた。 3. スペインやポルトガルの植民地支配を全面的に支援し、中南米における旧来の支配体制を維持させた。 4. 産業革命を主導していたイギリスを武力で完全に制圧し、ヨーロッパ全土に社会主義の思想を広めた。

問8 江戸時代中期の老中、田沼意次が行った、幕府の財政難を解決するための政策として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 佐賀公立入試 類似)

1. 商人の特権を認める代わりに、株仲間から税を徴収して貨幣経済による収入を増やそうとした 2. 質素倹約を命じるとともに、農村を離れた人々を村に帰して農業生産の回復を最優先した 3. 米の増産のために大規模な新田開発を行い、年貢として納められる米の量を増やすことに専念した 4. 外国との交流を一切断ち切ることで、国内の金銀が海外へ流出するのを防ごうとした

答え合わせ・解説

問1	答え 1 工場制手工業（マニファクチュア）	江戸時代中期に主流だった、商人が農民に原料や道具を貸し出して自宅で加工させる「問屋制家内工業」から一歩進んだ形態です。広い屋根の下に多くの人々が横一列に並び、糸を紡ぐ工程や布を織る工程をそれぞれ分担して効率的に作業を進めるのが特徴で、のちの明治時代の産業革命（機械工業）へとつながる重要な段階となりました。
問2	答え 1 享保の改革	徳川吉宗によるこの改革では、新田開発のほかに、大名に米を献上させる代わりに江戸滞在期間を短縮する「上げ米の制」などが実施されました。これにより一時的に幕府の財政は改善されましたが、農民への年貢増徴による負担増などの問題も抱えていました。
問3	答え 1 新井白石	元禄時代に行われた貨幣改鑄（質を落とした貨幣の大量発行）は幕府に利益をもたらした一方で、貨幣価値の下落と物価の高騰を招いていました。新井白石はこの経済的混乱を収束させるため、貨幣に含まれる金・銀の含有率を以前の水準まで戻す政策を断行しました。これは流通する貨幣量を抑えて物価を安定させることを目的としていました。
問4	答え 1 フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来日し、イエズス会を通じて布教が開始された。	1549年、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸したことで、日本に初めてキリスト教が伝わりました。当時、カトリック教会はヨーロッパでの宗教改革に対抗するため、イエズス会などの組織を通じてアジアや日本への布教活動を積極的に進めていました。その過程で、九州のキリシタン大名によって天正遣欧少年使節がローマ教皇のもとへ派遣されるなどの交流も生まれました。
問5	答え 1 大阪を拠点とし、町人の欲望や暮らしを題材にした小説を執筆した。	井原西鶴は大阪の豊かな町人層の出身であり、当時の新興勢力であった町人たちの現実的な生き様を肯定的に、時に鋭い風刺を込めて描きました。他の選択肢について、脚本で有名なのは近松門左衛門、浮世絵の創始者は菱川師宣、装飾画を大成させたのは尾形光琳であり、これらはいずれも元禄文化を代表する人物ですが、活動分野が異なります。
問6	答え 1 大坂町奉行所の元役人が、飢饉に苦しむ人々を救うために豪商を襲い、軍資金や米を分け与えようとした。	大塩平八郎は、自らの蔵書を売却して資金を作り、困窮する人々の救済を訴えましたが、奉行所や豪商がこれに応じなかったため、武装蜂起という手段に出ました。選択肢にある「生類憐みの令」は江戸時代前期の徳川綱吉による政策であり、「公事方御定書」は徳川吉宗による法典整備、キリスト教に関連する蜂起は島原・天草一揆を指すため、いずれも天保年間の出来事ではありません。
問7	答え 1 フランス軍の侵攻を受けた各地で民族意識が高まり、近代国家をつくらうとする動きが強まった。	ナポレオンは征服した土地にフランス革命の理想（自由・平等）やナポレオン法典を広めました。同時に他国による支配への抵抗感も生み出しました。これが各地域での民族意識（ナショナリズム）の覚醒を促し、19世紀以降の近代国家形成（国民国家の誕生）へとつながる大きな要因となりました。
問8	答え 1 商人の特権を認める代わりに、株仲間から税を徴収して貨幣経済による収入を増やそうとした	それまでの江戸幕府は、主に農民から徴収する「米（年貢）」を財政の基盤としてきました。しかし、商業が発展し貨幣経済が浸透するなかで、田沼意次は商人の力を利用する方針へと転換しました。同業者組織である「株仲間」を積極的に公認し、その見返りとして運上（うんじょう）や冥加（みょうが）といった税を納めさせることで、幕府の現金収入を増やそうと試みました。

問1 1833年から始まった天保のききんが深刻化する中、1837年に大坂で起きた出来事について、その背景と内容を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2024年 岐阜公立入試 類似）

1. 大坂町奉行所の元役人であった大塩平八郎が、ききんに苦しむ人々を救おうとせず江戸へ米を送り続ける奉行所の対応に憤り、弟子らとともに蜂起した。
2. 軍学者の由比正雪が、幕府の過酷な武家諸法度による改易で増えた浪人たちを組織し、幕府の転覆を狙って江戸で反乱を計画した。
3. 天保の改革によって株仲間が解散させられ、物価が急騰したことに抗議した大坂の商人が、奉行所に対して一斉に打ちこわしを行った。
4. 異国船打払令による外国船への攻撃に反対した渡辺華山や高野長英らが、幕府の鎖国政策を批判して大坂で武力による政治改革を訴えた。

問2 江戸時代後期、実測に基づいた正確な日本地図が求められる中で、約17年をかけて日本全国を歩いて測量し、「大日本沿海輿地全図」を完成させた人物は誰ですか。（2021年 佐賀公立入試 類似）

1. 伊能忠敬
2. 本居宣長
3. 葛飾北斎
4. 近松門左衛門

問3 江戸時代初期に活躍し、それまで本の挿絵であった浮世絵を、一枚の独立した絵画（肉筆画や版画）として完成させ「浮世絵の祖」と呼ばれた人物は誰ですか。赤衣着物を着た女性が肩越しに後ろを振り向く姿を描いた「見返り美人図」の作者として知られています。（2018年 香川公立入試 類似）

1. 菱川師宣
2. 俵屋宗達
3. 喜多川歌麿
4. 葛飾北斎

問4 豊臣秀吉が全国的な規模で実施した太閤検地によって確立された「石高制」について、その仕組みと意義を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 田畑の面積や土地の質を調査し、予想される米の収穫量を「石高」として表すことで、年貢の徴収や武士の軍役の基準を明確にした。
2. 土地の面積にかかわらず、耕作している人数に応じて一定の額の銀を納めさせることで、農村における貨幣経済の普及を促進した。
3. 平安時代から続く荘園領主の権利を保護するため、土地の収穫量を調査して貴族や寺院に直接利益が渡る仕組みを強化した。
4. 輸出用の生糸を確保するために、すべての農地で米の代わりに桑を栽培させ、その生産量を「石高」という単位で記録した。

問5 江戸時代の貿易において、愛媛県の別子銅山などで産出された「銅」が重要な役割を果たした背景として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 大阪公立入試 類似）

1. 金や銀の海外流出を抑制するため、その代わりに決済手段（輸出の柱）として銅が長崎を通じて輸出された。
2. 日本国内での貨幣需要が低下したため、余った銅をすべて長崎の出島からオランダへ輸出した。
3. 江戸幕府が鎖国を強化するために、国内の主要な鉱山をすべて閉鎖し、銅の輸出を全面的に禁止した。
4. 生糸などの輸入を制限するために、銅を武器の原料として清やオランダに大量に売り込んだ。

問6 元禄時代に実施された貨幣改鑄とその影響について、当時の統計や社会状況を説明した文として正しいものはどれですか。

（2019年 熊本県公立入試 類似）

1. 金の含有量を減らした新貨の発行により、幕府は総計で約500万両もの差額利益を得て財政に充てた。
2. 貨幣の質を向上させたことで、武士や農民の借金が帳消しになり、幕府の財政は健全化した。
3. この改鑄によって通貨の流通量が極端に不足したため、幕府は深刻なデフレ（物価の下落）に悩まされた。
4. 小判の重さと金の含有量をともに増やす政策をとったため、幕府の貯蓄していた金が底をついた。

問7 18世紀前半、徳川吉宗が進めた享保の改革では、新田開発の推進や年貢徴収法の変更によって幕府の年貢収納高が増加しました。しかし、市場に流通する米の量が増えたことで「供給過剰」となり、米の価格が著しく下落する現象が起きました。このとき、幕府が米価の調節と安定を図るために公認し、世界初の先物取引が行われたとされる大阪の市場を何といいますか。

（2025年 山口公立入試 類似）

1. 堂島の米市場
2. 蔵屋敷
3. 株仲間
4. 二十四組問屋

問8 江戸幕府は政治的な統制を強めるために五街道を整備しましたが、これは結果として人々の移動や物資の流通を活発にしました。この交通網の発達を背景に、各地の風景を描いた「東海道五十三次」を完成させ、その色彩表現が後のヨーロッパの印象派画家たちにも大きな影響を与えた人物を次の中から選びなさい。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 歌川広重
2. 葛飾北斎
3. 菱川師宣
4. 本居宣長

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大坂町奉行所の元役人であった大塩平八郎が、ききんに苦しむ人々を救おうとせず江戸へ米を送り続ける奉行所の対応に憤り、弟子らとともに蜂起した。	1830年代の天保のききんに対し、大坂町奉行所が適切な救済を行わず、逆に江戸へ米を送るなどの対応を優先したことが背景にあります。かつて奉行所の役人（与力）という立場にあった大塩平八郎が、幕府の政治を直接批判して反乱を起こしたことは、当時の社会に大きな衝撃を与えました。これは1841年から始まる天保の改革の遠因の一つともなっています。
問2	答え 1 伊能忠敬	江戸時代後半、幕府の命を受けた伊能忠敬は、天文学や測量術の知識を駆使して全国を実測しました。作成された地図は、当時のヨーロッパの技術に匹敵するほどの極めて高い精度を誇っており、のちに明治政府が近代的な地図を作成する際にも基礎資料として活用されました。
問3	答え 1 菱川師宣	菱川師宣は、それまで版本（印刷された本）の付録に過ぎなかった挿絵を、鑑賞を目的とした独立した絵画へと発展させた人物です。彼の登場によって浮世絵というジャンルが確立されました。選択肢にある喜多川歌麿や葛飾北斎は江戸時代後期の文化を代表する絵師であり、俵屋宗達江戸時代初期の装飾的な「琳派」の祖とされる人物です。
問4	答え 1 田畑の面積や土地の質を調査し、予想される米の収穫量を「石高」として表すことで、年貢の徴収や武士の軍役の基準を明確にした。	太閤検地では、全国で統一された「京枙」を用いて土地の面積や等級（上・中・下・下々）を調査し、その土地の生産力を米の量である「石高」で表しました。これにより、一つの土地に対して一人の耕作者（農民）を登録する「一地一作人の原則」が確立され、農民から確実に年貢を徴収する仕組みが整いました。また、武士に対しては、領地の石高に応じた軍役（兵を出す義務）を課すようになり、近世日本の社会構造を支える基盤となりました。
問5	答え 1 金や銀の海外流出を抑制するため、その代わりに決済手段（輸出の柱）として銅が長崎を通じて輸出された。	江戸時代中期以降、幕府は国内の金銀の枯渇を防ぐため、長崎貿易における支払いを銀から銅へと切り替えていきました。別子銅山で採掘された銅は、この輸出経済を支える極めて重要な資源となり、長崎を通じてオランダや清（中国）へと運ばれました。
問6	答え 1 金の含有量を減らした新貨の発行により、幕府は総計で約500万両もの差額利益を得て財政に充てた。	1695年の貨幣改鑄では、小判に含まれる金の割合を従来の約3分の2にまで低下させました。この「吹き替え」によって、幕府は多額の差額利益（出目）を得ることに成功し、当時の記録によればその総額は約500万両にものぼりました。この政策は、幕府の支出増大や金銀の産出量減少に対応するためのものですが、市場に質の悪い貨幣が大量に流出したことで、貨幣価値が下落し、結果として激しい物価高騰を引き起こしました。
問7	答え 1 堂島の米市場	徳川吉宗は新田開発などによって幕府財政の再建を図りましたが、米の増産は市場における米の価値を下げる結果となりました。米を売って現金を得ていた武士の生活が困窮したため、幕府は大阪の堂島にある米市場を公認し、米価を高く維持するための介入を行いました。吉宗が「米將軍」と呼ばれるのは、このように米価の調節に心血を注いだことに由来します。
問8	答え 1 歌川広重	江戸時代、幕府が東海道などの五街道を整備したことで、宿場町が発展し、庶民の間でも社寺参拝などを名目とした旅が流行しました。歌川広重は、街道の風景や旅人の様子を情緒豊かに描いた浮世絵「東海道五十三次」を発表し、当時の人々の旅への関心をさらに高めました。彼の作品に見られる鮮やかな青色は、後にヨーロッパへ渡り、ゴッホなどの画家に多大な影響を与えたことでも知られています。

問1 フランス革命期には、王政が廃止される過程でルイ16世やマリー・アントワネットといった人物が、ギロチンによる公開処刑に処されました。かつて「ルイ15世広場」と呼ばれていた場所が、革命の混乱の終結後、凄惨な記憶を乗り越えて市民が互いに手を取り合う「和解」や「一致」を願って現在の名称に改められましたが、その広場の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2025年 山梨公立入試 類似）

1. コンコルド広場 2. バスティュー広場 3. テルトル広場 4. ヴァンドーム広場

問2 江戸時代中期の政治において、田沼意次が従来の農業重視の政策から転換し、幕府の財政を立て直すために積極的に奨励した仕組みとして最も適切なものを選択してください。（2022年 静岡公立入試 類似）

1. 株仲間を公認し、その営業の独占を認める代わりに税を徴収する仕組み 2. 農村から都市へ出た人々を強制的に村に帰し、農業専念を命じる仕組み 3. 旗本や御家人の借金を帳消しにすることで、武士の生活を救済する仕組み 4. 生類憐みの令を發布し、生命の尊さを強調することで社会の秩序を守る仕組み

問3 江戸幕府が17世紀前半に段階的に発令した、キリスト教の禁止や海外渡航の制限を目的とした一連の政策について、その内容を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 徳島公立入試 類似）

1. 禁教令を出し、さらに日本人の海外渡航と帰国を禁止することで、キリスト教の拡大と大名が海外と結びつくことを防ごうとした。 2. 朱印状を与えた船にのみ海外渡航を認め、キリスト教信者であれば誰でも自由に海外貿易を行えるよう奨励した。 3. 朝鮮や中国との正式な国交を完全に断絶し、出島を閉鎖することで、外国人が一切日本に入れない状態を作った。 4. 海外でキリスト教を学んだ日本人が帰国して布教することを推奨し、それ以外の日本人の海外渡航を制限した。

問4 江戸時代中期の経済において、幕府が財政再建に取り組んでいた時期の状況について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2026年 長野公立入試 類似）

1. 米の増産には成功したが、米価が安くなりすぎる一方で他の商品の価格が高くなる現象が起き、貨幣経済への対応が課題となった。 2. 米価が急騰して庶民の生活が苦しくなったため、幕府は全国の新田をすべて破壊して米の生産量を制限する政策をとった。 3. 武士の生活を助けるために、すべての商品の支払いを米で行うよう法律を定め、貨幣の使用を全面的に禁止した。 4. 米価の下落を防ぐため、幕府は海外から大量の金銀を輸入し、国内のすべての米を買い取って海外へ輸出させた。

問5 江戸幕府が実施した大名配置の仕組みについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。幕府は大名を、徳川家との関わりの深さや時期によって「親藩」「譜代」「外様」の三つに分類し、領地を割り当てました。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 関ヶ原の戦い以前からの家臣である譜代大名を、江戸周辺や京都・大坂などの要所に配置して、幕府の要職に就かせるとともに防衛の任にあたらせた。 2. 徳川氏の親戚である親藩を、あえて江戸から最も遠い九州や東北地方に配置することで、地方から幕府の権威を全国に広める役割を担わせた。 3. 関ヶ原の戦い以降に服属した外様大名を、江戸に近い関東地方に集中して配置することで、常に將軍の監視下に置き、反乱を未然に防ごうとした。 4. 1万石以上の領地を持つ大名すべてを、実力や功績に関わらず、江戸からの距離が均等になるように円状に配置して統治の安定を図った。

問6 18世紀後半にフランスで発表された「人権宣言」の内容や背景に関する説明として、最も適切なものはどれか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 絶対王政による支配を打破しようと、自由・平等や私有財産の不可侵、人民主権などを主張した。 2. イギリス本国による重税に反対した植民地の人々が、生命・自由・幸福の追求などの権利を主張した。 3. 名誉革命において、国王が議会の同意なしに法律を停止することや、勝手に課税することを禁じた。 4. 第一次世界大戦後の混乱の中で、労働者の権利や人間らしい生活を営む権利である「社会権」を規定した。

問7 江戸時代中期の社会状況において、農村の組織と統治の仕組みについて説明したものとして、歴史的事実に基づき正しく述べられているものはどれですか。（2021年 埼玉公立入試 類似）

1. 庄屋などの村役人が、村の運営だけでなく年貢の徴収などの行政機能を担っていた。 2. 農村の自治は否定され、すべての村には幕府から武士が村役人として派遣されていた。 3. 田沼意次の時代には、村役人が主導して武士の借金を帳消しにする徳政令が頻繁に出された。 4. 太閤検地によって村役人の権限は失われ、土地の管理はすべて領主が直接行うようになった。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 コンコルド広場	18世紀末のフランス革命では、絶対王政が打倒され、多くの王族や貴族が処刑される恐怖政治が行われました。その主要な舞台となったのがこの広場です。革命後、フランス語で「調和・和解」を意味する「コンコルド」という名前に変更された背景には、暴力による対立を終わらせ、国民の融和を図るといった政治的な意図が込められていました。
問2	答え 1 株仲間を公認し、その営業の独占を認める代わりに税を徴収する仕組み	田沼意次は、年貢収入だけに頼る幕府財政の限界を打破するため、商業の発展に注目しました。商人が作る同業者組織である「株仲間」を積極的に公認し、運上・冥加といった税を課すことで、商業資本を幕府の財政に取り込もうとしました。選択肢にある農村への帰還や借金の帳消しは、後の松平定信や水野忠邦による改革で行われたものです。
問3	答え 1 禁教令を出し、さらに日本人の海外渡航と帰国を禁止することで、キリスト教の拡大と大名が海外と結びつくことを防ごうとした。	幕府は1612年や1613年に禁教令を出してキリスト教を禁止し、1630年代には日本人の海外渡航と帰国を全面的に禁止しました。これらの政策は、キリスト教が広まることで幕府の支配体制が揺らぐのを防ぐとともに、有力な大名が貿易によって富を蓄え、強大化することを阻止する狙いがありました。
問4	答え 1 米の増産には成功したが、米価が安くなりすぎる一方で他の商品の価格が高くなる現象が起き、貨幣経済への対応が課題となった。	享保の改革では新田開発や足高の制などにより幕府の米の収入は増えましたが、市場に米が溢れたことで米の価値が下がりました。当時は貨幣経済が浸透しており、武士や幕府は米を売って現金を得る必要がありましたが、米価安・諸物価高という状況によって、米を基盤とする経済システムが貨幣経済の進展に対応しきれなくなっていることが浮き彫りになりました。
問5	答え 1 関ヶ原の戦い以前からの家臣である譜代大名を、江戸周辺や京都・大坂などの要所に配置して、幕府の要職に就かせるとともに防衛の任にあたらせた。	江戸幕府は、江戸の周辺や政治・交通の要所に、信頼の厚い譜代大名を配置しました。これにより、老中などの幕府の重要ポストを譜代大名で固め、政権の安定を図るとともに江戸の警備を強化しました。一方、実力はあるものの反乱の恐れがある外様大名は、江戸から遠い地方に配置することで、物理的な距離を設けて軍事的脅威を減らす戦略をとりました。
問6	答え 1 絶対王政による支配を打破しようと、自由・平等や私有財産の不可侵、人民主権などを主張した。	フランス革命の最中、1789年に国民議会で採択された人権宣言は、啓蒙思想の影響を受けて、生まれながらの自由と平等、国民主権、私有財産の不可侵などをうたいました。これは、当時の絶対王政という身分制社会を根本から変革しようとするものでした。他の選択肢については、イギリス本国の重税に反対したのはアメリカの独立宣言、議会の同意なしの課税禁止はイギリスの権利の章典、社会権の規定は20世紀のワイマール憲法（ドイツ）に関する記述です。
問7	答え 1 庄屋などの村役人が、村の運営だけでなく年貢の徴収などの行政機能を担っていた。	江戸時代の農村では、武士が直接すべての農民を管理するのではなく、有力な農民である村役人を通じて間接的に統治する形式がとられていました。村役人は村内の揉め事の仲裁や用水の管理といった「自治」を行う一方で、領主に対する年貢の納入責任を負うという行政的な側面も持っていました。徳政令は主に幕府が武士を救済するために出すものであり、村役人が出すものではありません。また、太閤検地はむしろ農民の土地所持権を明確にし、村を単位とした統治を強化するきっかけとなりました。

問1 江戸時代の徳川吉宗が行った享保の改革では、質素儉約による財政再建や、目安箱の設置を通じた民意の反映など、多角的な政策が展開されました。この改革の一環として、裁判を迅速かつ公正に行うために、判例に基づいた判決の基準を定めた法典として最も適切な名称を答えてください。（2021年 奈良公立入試 類似）

1. 公事方御定書 2. 武家諸法度 3. 生類憐みの令 4. 御成敗式目

問2 18世紀に起こったフランス革命が、それ以前の政治体制をどのように変えたかについて説明した文として、最も適切なものを選択してください。（2016年 京都公立入試 類似）

1. 国王が絶大な権力を持つ絶対王政が倒され、主権が国民にあることが示された。 2. イギリスの植民地支配から独立し、大統領を元首とする共和制が樹立された。 3. 一滴の血も流さずに議会政治が確立され、立憲君主制の基礎が築かれた。 4. 労働者や兵士が中心となり、世界で初めての社会主義政権が誕生した。

問3 古代の律令制度下では、地方の特産品を都へ納める「調（ちょう）」という税がありました。現在の上総国（千葉県中部）一帯から「調」として納められ、その質の高さから朝廷で重宝された麻布を何と呼びますか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 望陀布 2. 上総米 3. 下総醤油 4. 房総節

問4 フランス革命後の混乱を收拾し、1804年に国民投票によって皇帝の地位についた人物は誰か。（2023年 香川公立入試 類似）

1. ナポレオン 2. クロムウェル 3. ワシントン 4. ロベスピエール

問5 フランス革命後の混乱の中で軍事的な功績を背景に実権を握り、1804年に皇帝の座についてヨーロッパの大部分を支配した人物は誰か。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. ナポレオン 2. ルイ16世 3. ワシントン 4. ビスマルク

問6 田沼意次が、従来の「年貢（米）」による収入を増やす方針から、商工業者の活動を利用する方針へと大きく転換した背景として、最もふさわしい説明を選択してください。（2021年 三重公立入試 類似）

1. 貨幣経済が農村まで浸透し、米を基準とした財政システムだけでは幕府の運営が困難になっていたから。 2. 「生類憐みの令」の影響で農業生産力が低下し、食料不足を解消するために商業を振興させる必要があったから。 3. 鎖国体制を完全に廃止して外国との自由貿易を開始するために、国内の商工業を大規模に組織化する必要があったから。 4. 武士が商業に従事することを許可し、身分制度を解体することで新しい国家建設の資金を得ようと考えたから。

問7 江戸時代後期、多くの諸藩が財政難に苦しむ中で行った「藩政改革」において、財政を立て直すために広く採用された経済政策として、最も適切な説明を選んでください。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 藩が領内の特産物を安く買い上げ、都市の商人を通じて有利な価格で売り出す専売制を強化した。 2. 幕府による株仲間の解散令に従い、商人の独占を廃止して自由な商取引を奨励した。 3. 参勤交代の負担を減らすために、大名が江戸に滞在する期間を半年から1か月に短縮した。 4. 農村の人口減少を防ぐため、他国への出稼ぎを全面的に禁止し、すべての農民を自給自足の生活に戻した。

問8 松平定信が行った「寛政の改革」では、凶作で飢えた農民の救済や、将来の飢饉への備えが重要な課題となりました。当時の記録において、幕府が各藩に対して米の備蓄を命じたり、村の住民が穀物を共同で保存するための施設を設けたことが示されていますが、このような政策が行われた直接的な背景として正しいものはどれですか。（2024年 山梨公立入試 類似）

1. 天明の飢饉によって多くの餓死者が出て、各地で百姓一揆や打ちこわしが頻発したから。 2. 外国船の来航が相次ぎ、海岸沿いの警備を強化するための兵糧を確保する必要があったから。 3. 新田開発が進んで米の収穫量が大幅に増えたため、余った米を市場に流さないよう調整したから。 4. 貨幣経済が浸透して年貢としての米の価値が下がったため、米の価格を無理やりつり上げようとしたから。

問9 下総国佐原（現在の千葉県香取市）で名主を務めた後に隠居し、50歳を過ぎてから江戸で天文学や測量術を学び、約17年をかけて日本全国を歩いて実測による正確な日本地図を完成させた人物は誰ですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. 伊能忠敬 2. 間宮林蔵 3. 杉田玄白 4. 新井白石

答え合わせ・解説

問1	答え 1 公事方御定書	徳川吉宗は、それまで各奉行の裁量に委ねられていた裁判の基準を統一するため、過去の判決例を整理して「公事方御定書」を編纂させました。これにより、同様の罪に対して一貫性のある判決が下されるようになり、司法の信頼性と効率性が高まりました。武家諸法度は大名の統制を目的としたものであり、生類憐みの令は5代將軍綱吉によるもの、御成敗式目は鎌倉時代の武士の慣習をまとめたものです。
問2	答え 1 国王が絶大な権力を持つ絶対王政が倒され、主権が国民にあることが示された。	フランス革命は、国王が絶対的な権力を握る「絶対王政」を市民の力で打破した出来事です。これにより、特権階級による支配が終わるとともに、人権宣言を通じて国民が政治の主体となる近代社会への転換が図られました。他の選択肢は、アメリカ独立戦争、イギリスの名誉革命、ロシア革命に関する説明です。
問3	答え 1 望陀布	望陀布（もうだのぬの）は、現在の千葉県袖ヶ浦市や木更津市周辺（望陀郡）で生産されていた高品質な麻布です。律令制において、成人男性に課せられた「調」は各地の特産品を納めるものでしたが、望陀布はその優れた品質から朝廷へ納める貢納品の代表格として扱われ、東国を代表する特産品となっていました。
問4	答え 1 ナポレオン	フランス革命による政治的な混乱が続く中、軍人として頭角を現した人物についての問いです。エジプト遠征などで軍功をあげ、クーデターによって実権を握ると、その後、国民からの圧倒的な支持を背景に皇帝となりました。彼は「ナポレオン法典」を制定し、革命で得られた法の前の平等や私有財産の尊重といった原則を法的に確立しました。
問5	答え 1 ナポレオン	ナポレオンはフランス革命の混乱を收拾して権力を掌握し、ナポレオン法典の制定や対外遠征を通じて、革命の精神である自由や平等の考えをヨーロッパ各地に広めた。ルイ16世は革命によって処刑された当時の国王である。
問6	答え 1 貨幣経済が農村まで浸透し、米を基準とした財政システムだけでは幕府の運営が困難になっていたから。	江戸時代中期になると、都市だけでなく農村にも貨幣経済が広まり、武士も生活に必要な物品を現金で購入する必要が生じていました。一方で、幕府の収入は依然として農民からの年貢（米）が中心であり、不作の影響を受けやすく不安定でした。田沼意次は、こうした社会の変化に対応するため、農本主義的な考えから一歩進み、商業資本を活用して財政を安定させるという合理的な判断を行いました。
問7	答え 1 藩が領内の特産物を安く買い上げ、都市の商人を通じて有利な価格で売り出す専売制を強化した。	江戸時代後期の諸藩は、貨幣経済の浸透により深刻な財政難に陥っていました。これを打開するため、各藩は領内の特産物（薩摩藩の黒砂糖や長州藩の紙・ろうなど）を藩が独占的に買い上げ、大坂や江戸の市場で販売して利益を上げる「専売制」を導入しました。これにより、商人に頼らずに藩自らが利益を確保し、財政の再建を図りました。一方で、幕府が江戸で行った株仲間の解散（天保の改革）などは、藩政改革とは異なる動きです。
問8	答え 1 天明の飢饉によって多くの餓死者が出て、各地で百姓一揆や打ちこわしが頻発したから。	寛政の改革の直前には、近世最大級の惨事となった天明の飢饉が発生していました。この飢饉による食糧不足は、深刻な農村の荒廃だけでなく、都市部での打ちこわしや農村での百姓一揆を招き、幕府の支配体制を揺るがしました。松平定信は、政情の安定には食糧の確保が不可欠であると考え、困米や穀物倉などの備蓄政策を推し進めました。
問9	答え 1 伊能忠敬	50歳という当時としては高齢で隠居した後、幕府の天文方であった高橋至時に弟子入りし、最新の測量技術を習得しました。当初は自費を投じて蝦夷地の測量を開始しましたが、その技術の高さと熱意が認められたことで、後に幕府の正式な事業として全国を測量することになりました。彼の作成した「大日本沿海輿地全図」は、当時の世界基準に照らしても極めて精度の高いものでした。

中学歴史プリント（過去問類似）

江戸時代

名前

得点

/10

問1 1789年のフランス革命、人権宣言の採択、その後の周辺国との戦争という歴史的経緯を踏まえ、軍人から皇帝へと上り詰め、ヨーロッパの大部分を支配下に置いた人物は誰ですか。（2021年 佐賀公立入試 類似）

1. ナポレオン 2. ルイ16世 3. ロベスピエール 4. ビスマルク

問2 江戸幕府が全国の大名を統制し、幕府の権力を強めるために1615年に制定した法令は何ですか。この法令には、大名が城の新築をすることや、幕府の許可なく大名同士が婚姻を結ぶことを禁止する内容が含まれています。（2022年 岡山公立入試 類似）

1. 武家諸法度 2. 公家諸法度 3. 御成敗式目 4. 禁中並公家諸法度

問3 親藩の中でも特に格式が高い尾張・紀伊・水戸の三家は「御三家」と呼ばれ、幕府の統治において特別な特権を持っていました。その特権の内容として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 将軍の跡継ぎがない場合に、後継者を出すことができる権利。 2. 老中などの幕府の最高役職を独占し、政治の実権を握る権利。 3. 長崎での貿易を独占し、その利益をすべて家計に入れる権利。 4. 参勤交代を免除され、常に自領で政務を行うことができる権利。

問4 江戸幕府の歴代将軍に関する統計において、9代家重や10代家治、11代家斉、12代家慶といった後代の将軍と比較した際、幕府領の石高に対する年貢高の割合を特に高く維持し、財政再建を強力に推し進めた第8代将軍は誰ですか。（2019年 香川公立入試 類似）

1. 徳川吉宗 2. 徳川家重 3. 徳川家治 4. 徳川家斉

問5 江戸時代後期の北方の情勢と幕府の対応について述べた文として、正しい順序で並んでいるものはどれですか。（2026年 大阪公立入試 類似）

1. ロシア使節のラックスマンが根室に來航して通商を求めた後、間宮林蔵が樺太を探検し、その後、異国船打払令が出された。 2. 異国船打払令が出されたことで外交緊張が高まり、その調査のためにラックスマンが來航し、間宮林蔵が樺太へ派遣された。 3. 間宮林蔵が樺太を探検してそこが島であることを確認した後、その報告を受けたロシアのラックスマンが根室に來航した。 4. ロシアのラックスマンが來航した直後、幕府は直ちに異国船打払令を出して拒絶し、その後北方警備として間宮林蔵を派遣した。

問6 元禄時代に活躍した近松門左衛門は、人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を数多く執筆しました。彼の作品の多くに共通する特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 東北や北陸を旅して、自然の風景や旅先での感動を俳句とともに記した。 2. 社会の義理と個人の人情との板挟みになって苦しむ男女の姿などを描いた。 3. 弥次さんと喜多さんという二人の人物が東海道を旅する様子を滑稽に描いた。 4. 武士の道徳や忠義を重んじ、歴史上の英雄たちの活躍を壮大な物語にした。

問7 江戸時代、幕府はキリスト教の禁教を徹底する一方で、第8代将軍の徳川吉宗は「享保の改革」において、キリスト教に関係のない「漢訳洋書」の輸入制限を緩和しました。この政策が取られた背景として最も適切な理由はどれですか。（2023年 島根公立入試 類似）

1. 実用的な学問である「実学」を奨励し、農業や天文などの知識を国内の産業や暦の改良に役立てるため 2. キリスト教の布教を認めることで、鎖国政策を終わらせてヨーロッパ諸国との自由貿易を再開するため 3. オランダ商館を出島から江戸へ移転させ、幕府が直接貿易を管理する体制を整えるため 4. イエズス会の宣教師を登用して、西洋の軍事技術を導入し幕府の軍事力を強化するため

問8 フランス革命後の混乱を收拾し、1804年に国民投票によって皇帝の地位についた人物は誰か。（2023年 香川公立入試 類似）

1. ナポレオン 2. クロムウェル 3. ワシントン 4. ロベスピエール

問9 江戸時代後期、織物業などの盛んな地域で見られた、一つの建物に多くの働き手を集め、手作業による分業と協業を通じて製品を生産する仕組みを何といいますか。（2026年 愛媛公立入試 類似）

1. 工場制手工業（マニュファクチュア） 2. 問屋制家内工業 3. 機械工業 4. 大名貸

問10 江戸時代後期に書かれたある物語では、弥次郎兵衛と喜多八という二人の人物が伊勢参りに向かう道中を面白おかしく描いており、当時の庶民の間で大流行しました。この作品の作者は誰ですか。（2026年 滋賀公立入試 類似）

1. 十返舎一九 2. 井原西鶴 3. 松尾芭蕉 4. 本居宣長

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ナポレオン	フランス革命後の混乱期に軍人として台頭した人物です。彼は軍事的な成功を背景に権力を握り、1804年に国民投票を経て皇帝に即位しました。その後、ナポレオン法典（フランス民法典）を制定して革命の成果を法的に定着させるとともに、大規模な遠征を行ってヨーロッパの広範囲を支配しました。なお、ルイ16世は革命中に処刑された国王、ロベスピエールは革命期の恐怖政治を主導した人物です。
問2	答え 1 武家諸法度	江戸幕府は大名の軍事力を抑え、反乱を未然に防ぐためにこの法令を定めました。城の無断修理や新築を禁じて防御を固めさせないようにしたほか、大名同士が勝手に縁組をして勢力を拡大することを防ぐ狙いがありました。鎌倉時代に定められた御成敗式目や、朝廷や公家を対象とした法令とは区別する必要があります。
問3	答え 1 将軍の跡継ぎがない場合に、後継者を 出すことができる権利。	御三家は徳川将軍家の血筋を絶やさないための安全装置としての役割を担っていました。実際に、2代将軍秀忠の血統が途絶えた際、紀伊徳川家から8代将軍吉宗が選ばれるなど、幕府の存続において極めて重要な地位を占めていました。なお、老中などの役職に就くのは主に譜代大名の役割でした。
問4	答え 1 徳川吉宗	徳川吉宗は紀伊藩主から第8代将軍に就任し、享保の改革を主導しました。当時の幕府は深刻な財政難に陥っていましたが、吉宗は収穫量に関わらず一定の税率を課す「定免法」の導入や新田開発の奨励によって、年貢高の割合を他の将軍の時代よりも高い水準で維持し、幕府財政の立て直しに成功しました。
問5	答え 1 ロシア使節のラックスマンが根室に 来航して通商を求めた後、間宮林蔵が樺太を 探検し、その後に異国船打払令が出され た。	江戸時代後期の対外関係は段階的に緊張が増しました。まず1792年にロシアのラックスマンが根室に来航して通商を求め、これをきっかけに幕府は北方への関心を強めました。その後、1808年に間宮林蔵が樺太（サハリン）を探検して「間宮海峡」を発見し、樺太が島であることを確認しました。さらに外国船の来航が相次いだことで、1825年に異国船打払令が出されるに至りました。
問6	答え 2 社会の義理と個人の人情との板挟みにな って苦しむ男女の姿などを描いた。	近松門左衛門は、竹本義太夫と協力して人形浄瑠璃（文楽）の黄金時代を築きました。彼の作品、特に『曽根崎心中』などの「世話物」では、当時の社会規範である「義理」と、人間としての感情である「人情」の葛藤が主題となっており、町人たちの深い共感を呼びました。他の選択肢は、松尾芭蕉の『おくのほそ道』や十返舎一九の『東海道中膝栗毛』に関する記述です。
問7	答え 1 実用的な学問である「実学」を奨励し、 農業や天文などの知識を国内の産業や暦 の改良に役立てるため	徳川吉宗は、幕府の財政を立て直すために産業の発展を重視しました。その一環として、キリスト教の布教に繋がらない科学技術や医学などの実用的な知識が書かれた漢訳の西洋書籍（漢訳洋書）に限り、輸入制限を緩めました。この政策は、のちに杉田玄白らが活躍する「蘭学」が発展する重要なきっかけとなりました。
問8	答え 1 ナポレオン	フランス革命による政治的な混乱が続く中、軍人として頭角を現した人物についての問いです。エジプト遠征などで軍功をあげ、クーデターによって実権を握ると、その後、国民からの圧倒的な支持を背景に皇帝となりました。彼は「ナポレオン法典」を制定し、革命で得られた法の前の平等や私有財産の尊重といった原則を法的に確立しました。
問9	答え 1 工場制手工業（マニュファクチュア）	江戸時代中期に主流だった、商人が農民に原料や道具を貸し出して自宅で加工させる「問屋制家内工業」から一歩進んだ形態です。広い屋根の下に多くの人々が横一列に並び、糸を紡ぐ工程や布を織る工程をそれぞれ分担して効率的に作業を進めるのが特徴で、のちの明治時代の産業革命（機械工業）へとつながる重要な段階となりました。
問10	答え 1 十返舎一九	江戸時代後期の化政文化では、庶民の旅や日常生活をユーモアたっぷりに描いた「滑稽本」というジャンルが人気を博しました。十返舎一九が書いた『東海道中膝栗毛』はその代表作であり、伊勢参りという当時の庶民の憧れを題材にしています。井原西鶴は元禄文化期に「浮世草子」を執筆した人物であり、時代背景や作品の性質が異なるため注意が必要です。